

初期値を取得する先と優先順位

- 1.cardform 第3引数 savepage
- 2.basename/0
- 3.form* プラグインの引数による指定

処理のながれ

取得先の存在確認

- ・チェックするのは basename,savepage,basename/0
- ・cardform でやる

初期値を取得するように form* へ通知

- ・basename と取得先ページ名を登録する CardFuncBase->set_initpage(wiki,base,page)
- ・ページが登録されているかどうかで初期値を使用するか判断する
CardFuncBase->is_set_initpage()
- ・ラベル名で値を取得できるメソッドを設ける CardFuncBase->get_initdata(wiki,label)
- ・状態のクリアは formend が行なう CardFuncBase->unset_initpage()

値の取得

- ・各 form* がそれぞれ取得し設定する
- ・値を取得するには basename と取得先ページ名が必要 事前登録
- ・取得先ページを自由に指定できる機構に修正する 例外として実装
- ・使用ページの内容をキャッシュする 事前登録時 ->{basename}->{init} 以下にキャッシュ
- ・値のキャッシュは負荷低減に寄与しない 値の受渡し方法が問題なのでキャッシュする

初期値への設定

- ・引数パース時、引数とし手渡す 引数は最初の値が有効とする

変更点

CardForm

- ・savepage,basename/0 の存在確認
- ・上記存在時の登録 set_initpage(wiki,base,page)

CardFuncBase

{cache}{ ベース名 }{regex}

- ・{cache}{ ベース名 }{0} から rename。

{init}

- ・初期値取得関連キャッシュ変数 %init へのリファレンス

{init}{basename}

ベース名

{init}{basecache}

ベースページ内容キャッシュ

{init}{pagename}

初期値取得ページ名

{init}{pagecache}

初期値取得ページ内容キャッシュ

{cache}{ベース名}{init}

- ・ラベル名 / ラベル値キャッシュデータのハッシュへのリファレンス

set_initpage(wiki,base,init)

初期値取得ページ名の設定とキャッシュ

- ・ base 存在チェック
- ・ base 内容読み込み
- ・ \$init{basename} へページ名セット
- ・ \$init{basecache} へ内容セット
- ・ page 存在チェック
- ・ page 内容読み込み
- ・ \$init{pagename} へページ名セット
- ・ \$init{pagecache} へ内容セット
- ・ {init} = \%init

is_set_initpage()

- ・ return define {init}

get_initdata(wiki,label)

- ・ if(define {init})...
- ・ get_data(wiki,{init}{basename},"init",label)

unset_initpage()

- ・ {init} = undef
- ・ \%init = ()

do_regex_cache()

- ・ basename がキャッシュされているか確認 \$self->{init}{basepage} eq \$base
- ・ basename をキャッシュから取得する {init}{basecache}

do_page_cache()

- ・ ページが設定されキャッシュされているか確認 \$self->{init}{basepage} eq \$base
- ・ 流れは大きく変わらない
- ・ ページ番号が "init" であった場合にページ内容の取得と結果の保存場所について特別処理する

Form*

- ・初期値設定確認 `is_set_initpage()`
- ・初期値取得 `get_initdata(wiki,label)`
- ・初期値を引数の先頭に追加（例外あり） `FormFuncBase` 修正

FormEnd

- ・ `unset_initpage()` 呼出

FormFuncBase

- ・ `CardFuncBase` の継承
- ・ 引数処理変更 同パラメータ存在時、引数先頭側を有効にする